

公益財団法人 庭野平和財団御中

## 東アジア次世代リーダー育成プログラム

・ 基盤整備

・ 平成30(2018)年度 活動報告書

平成 30(2018)年 12 月 31 日

ARI (Asia Regional Initiative)

## ●活動の目的

現在、東アジアが直面している様々な課題を解決していくためには、共同の未来を一緒に考えながら行動できる人材の育成が重要である。自分のアイデンティティを国家(国民)の枠組みに留めず、世界的(Global)かつ地域的(Local)な視野を持ち、アジアの人々で協力しあい新しい行動を起こす「アジア人」の活動が、平和な東アジア共同体を築く基盤となる。

本プログラムは、そのような展望をもつ次世代のリーダーを育成することを目的とする。特に、対象者を日韓の宗教者(宗教を基盤とする活動家)とすることが、本プログラムの特性である。自分の持っている「現場」と、東アジアの平和を並行して考えながら、宗教者としての役割を果たせるよう、次世代が「共に育ち合う」ことを目標とする。今まで4年間、日韓中心にしてきたが、今後は、日韓の協力の活性化とともに 沖縄、台湾、香港など周辺から見るアジアまた、弱者から見るアジアという観点から町、国、国家そしてリージョン(東北アジア)の新しい構想をそれぞれ国の宗教者と議論し我々の発想を発信していこうとする。

しかしながら、このように活性化し拡大していくためには、事務の機能とコーディネート役の役割が堅実にならなければならない。今年は、このための事務局の整備、ウェブサイトを通じる情報の公開そして宗教団体およびアジアに関する団体などのネットワーク構築に関して集中することを活動の目標にしていく。

具体的な基盤調整の目標は、SEAL のウェブサイトを作ることである。このウェブサイトへの期待は、1) SEAL の活動を公開するだけでなく、2) 今までの活動の資料を アーカイブ化すること、3) それぞれの地域で何が起こっているのかをシェアすること、4) 今まで協力してきた団体とのネットワークを常に強化していくこと、5) SEAL の活動を積極的にお知らせ、次の世代との共感と交感していくことを想定している。

また、今までの活動は、人脈を主にして 行ってきたが、この基盤調整により、今後は、イシューおよびプログラムなどを通じて新しい若い世代と協力することを期待する。なので、それぞれの宗教団体の活動やプログラムなどを調べる調査などが今後必要になる。今回の基盤調整には、ここまでは含まれていないが、ウェブサイトの完成後は、関連団体と人物などとは、協力とネットワークをやりながら、ウェブサイトの内容を充実に発展していく。

## ●活動内容

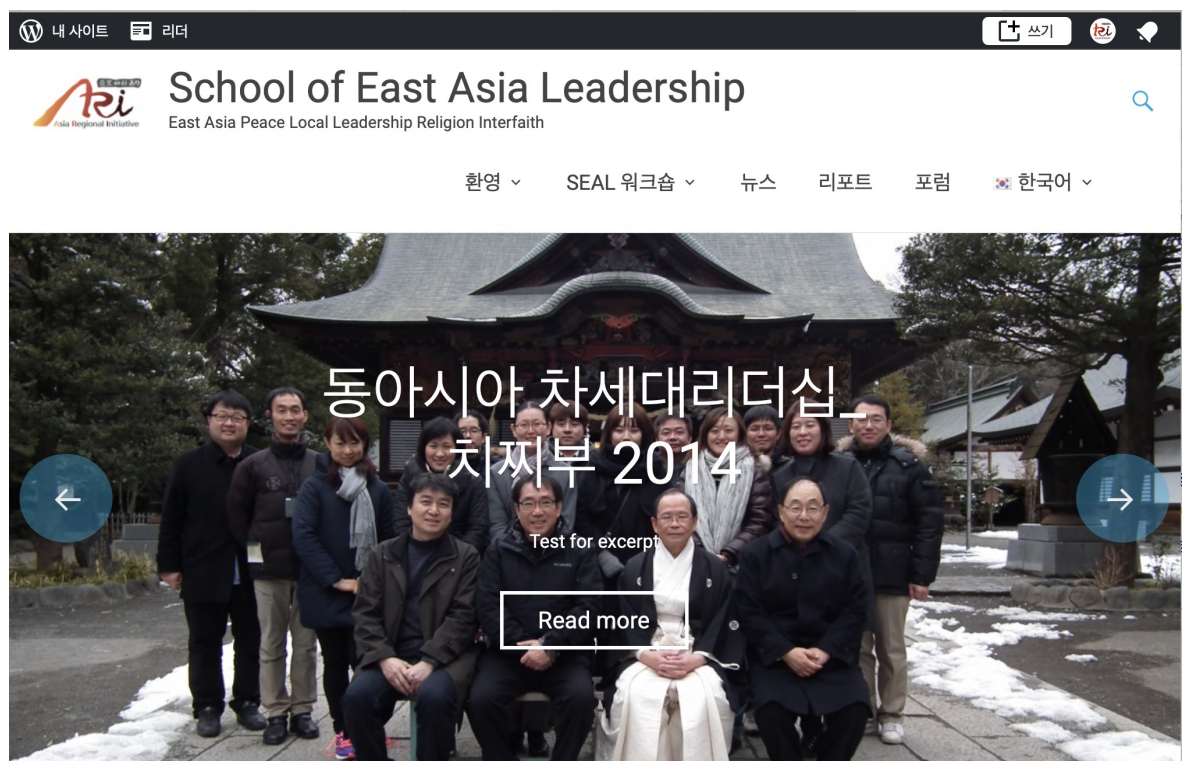
### 【期間】

2018 年 10 月 1 日(月)～12 月 31 日(月)

### 【実施内容】

#### 1. ウェブサイトを作ること。

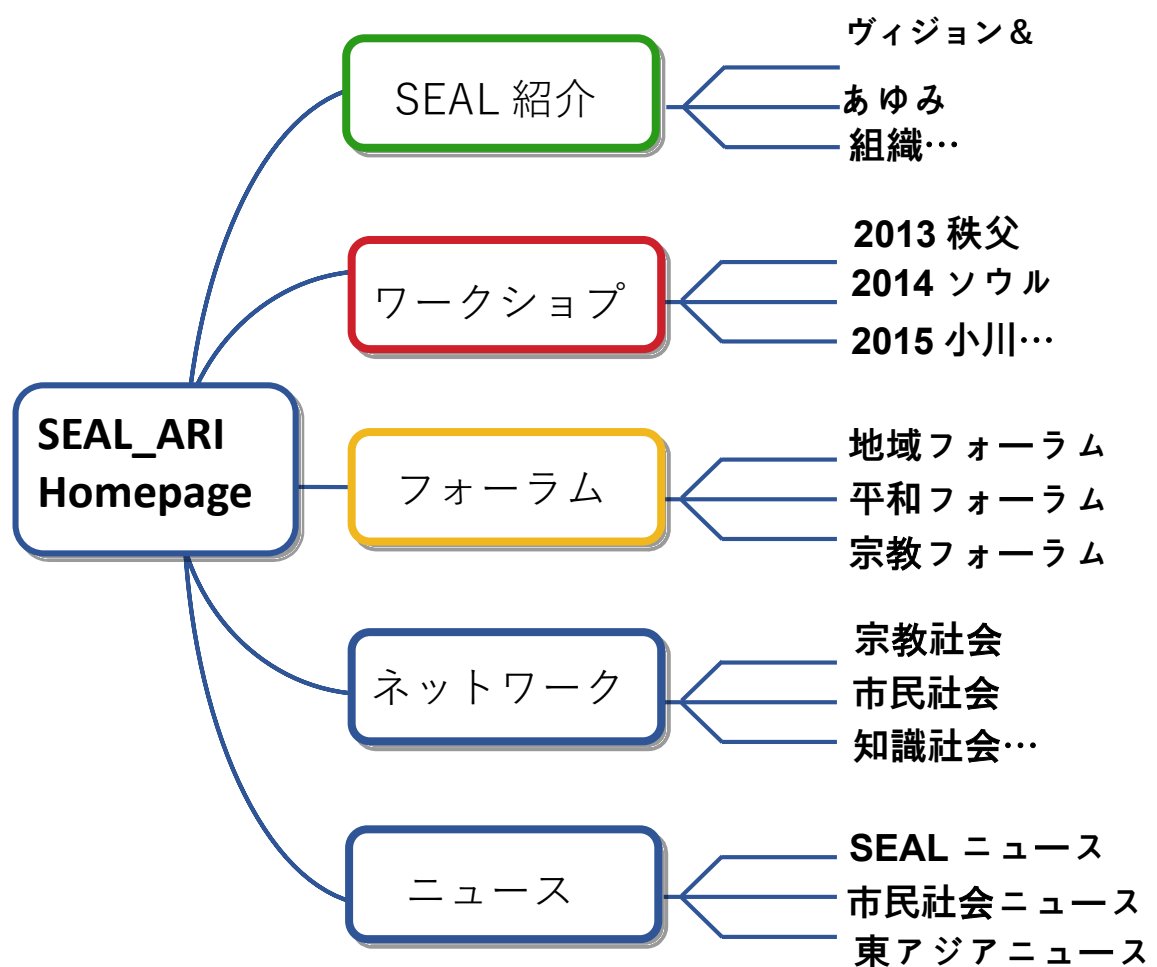
SEAL の活動を公開し、また関係者との常にネットワークができるように、ウェブサイトを設置する作業。サイトのアドレスは、<http://seal-ari.org>



- A. このウェブサイトは、今後のプログラムの変化も考え、いつでも対応が可能にする必要があり、Wordpress という DIY が可能なツールを学びながら一緒に作るプロセスである。これに関しては、Wordpress の専門家に依頼し、2ヶ月間毎週学んだりアドバイスを受けていたりしていた。
- B. 設置は、サーバー会社にお任せではなく、Wordpress の business plan(毎年300USD)で、様々なサービスを受ける。(https://wordpress.com/pricing/)

- C. 今回のウェブサイトの特徴は、言語が自由になり、今は、韓国語、日本語、英語が主になっているが、中国語も含め、今後他の言語もすぐ追加できる仕組みである。
- D. 言語は、自動翻訳でもできるし、直接翻訳することもできる。だが、ページという公開するため作ったスライドは、直接翻訳して言語の自然さを生かす。
- E. 今回の作業では、大体のウェブサイトのフレームが作られたので今後は、その中身になるページと写真やコンテンツを作ることになる。
- F. このサイトは、公開活動が目的であり、パブリックであるが、SEAL のメンバーは、自由に意見公開するのは、facebook(<https://www.facebook.com/groups/1437344826510423/>)を利用する。

## 2. サイトマップとその役割



- A. **SEAL 紹介**: SEAL の趣旨を含めビジョンとミッションを紹介しながら今までの歩みと組織などを説明する。

- B. **ワークショップ**: 2013年から2017年度まで実施してきた SEAL プログラムを紹介するところである。それぞれのテーマと概要 そして写真などを含む。このホームページでは、これがメインである。
- C. **フォーラム**: オンラインフォーラムで、新しい情報と人々の意見などをシェアする場所である。このカテゴリは、あとでの進行により変化する可能性があるが、今までのテーマを考えれば、地域(local/national/regional)、平和そして宗教などが主な内容になると思う。
- D. **ネットワーク**: 今まで参加した人々が属している団体との協力を活かすためにそれぞれの団体の活動など紹介するところである。
- E. **ニュース**: SEAL の事業を含め、他の市民団体のプログラムなどを紹介しシェアすることが目的である。だが東アジアのニュースは、各地の主なニュースをアップデートすることである。

### 3. 資料のアーカイブ化すること

- A. 今までの資料を写真、プログラム、発表資料、記録などを集まってアーカイブ化する。これをベースにしてウェブサイトを検討の後、載せるつもりである。
- B. 写真は、多いですが、上手く見せたり説明するためには、別の方法で作る必要があると判断していた。例えば、パワーポイントもあるし、スライドショーができるような簡単なビデオも考えられる。
- C. プログラムの資料集まったが、発表資料は、原稿があるもの最初からなかったものもあるので、これは、公開するアーカイブではなく、非公開で保管する。だが、今後ただの第1資料ではなく、まとめてわかりやすい資料に作るのはいいかと思う。

### 4. 今後の課題

- A. なので、最初は、今までの1)ワークショップと、2)アーカイブに集中するが、これをベースに3)フォーラム、4)ネットワーク、そして5)ニュースなどを活発に伝えたい。
- B. 一応ウェブサイトが完成したら、若者との交流から反応を受け、サイトは、少しずつ見直ししながら、修正する必要があると思う。
- C. 少なくとも月一回くらい、ウェブサイトの内容を更新する必要があるので、一番大事であるのは、これが可能にする編集委員などを決め協力することである。

- D. デザインや、サイトのタイトルなどは、完成の後、SEAL のメンバーの意見を聞きながら、修正していきたい。
- E. オンラインとオフラインとの連携も大事であるので、必要であれば、それぞれ地域で、オフラインでのミーティングも活発化する必要がある。
- F. ウェブサイトの言語や翻訳の問題は、技術は、大丈夫であるが、やはり人の目で、修正する必要があるので、ウェブサイトの編集委員会を結成して運営するのが良いかと思う。